

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)														
事業実施地区名 (都道府県名)	庄内森林計画区 (山形県)	事業実施主体	東北森林管理局 庄内森林管理署														
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、山形県北西部に位置する庄内森林計画区内の国有林野92,508haである。</p> <p>当計画区は鳥海山系及び朝日山地から日本海沿岸に西傾しており、主な山岳は鳥海山、月山、摩耶山、以東岳等の朝日連峰までの山形県内陸部を走る山岳地帯で構成されており、主要河川は最上川、梵字川、大鳥川などが日本海に注いでいる。</p> <p>林況は、林地面積の85%がブナ類を主とする広葉樹天然林、15%が主にスギなどの人工林となっている。</p> <p>当計画区内は優れた自然環境を有する地域であり、低地から高山帯まで広範な植生帯が存在し「朝日山地森林生態系保護地域」、「鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊」に設定されているとともに「磐梯朝日国立公園」「鳥海国立公園」、「庄内海浜県立自然公園」等に指定されている。</p> <p>これらの地域は、登山、湖沼・渓谷散策のほか温泉、名勝やスキー場等の観光施設が整っているとともに、キャンプ等の森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、豊かな森林資源を利用して従来より木材加工業が発達しているとともに、キノコや山菜を利用した林産物加工業が地域の重要な産業となっているとともに、主要河川の上流に位置する森林は、穀倉地帯の用水源等として重要な役割を担っている。</p> <p>これらの地域に所在する森林は、自然のダムと炭素貯蔵の役割をしており、適切な森林整備とこれらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減に貢献し、低炭素社会の構築とバイオマス利用を推進している当地区に寄与するとともに木材生産と公益的機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては、地域の要請に応えるとともに森林の有する機能発揮、低炭素化社会、国産材需給率向上に向け、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な整備、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%;">429ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,605ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>18.7km</td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>1,190,999千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	429ha			保育面積	2,605ha		路網整備	開設延長	18.7km	総事業費	1,190,999千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	429ha														
		保育面積	2,605ha														
	路網整備	開設延長	18.7km														
総事業費	1,190,999千円																
費用対効果分析	総便益(B)	8,907,889千円															
	総費用(C)	1,384,047千円															
	分析結果(B/C)	6.44															
事業評価技術検討会の意見	森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。																
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 低炭素社会の構築や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮、バイオマス事業の推進、木材の安定供給等地域の要請に応えるため本事業の実施が必要である。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。 <p style="text-align: center;">新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																

様式1

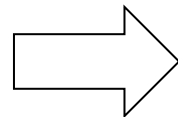
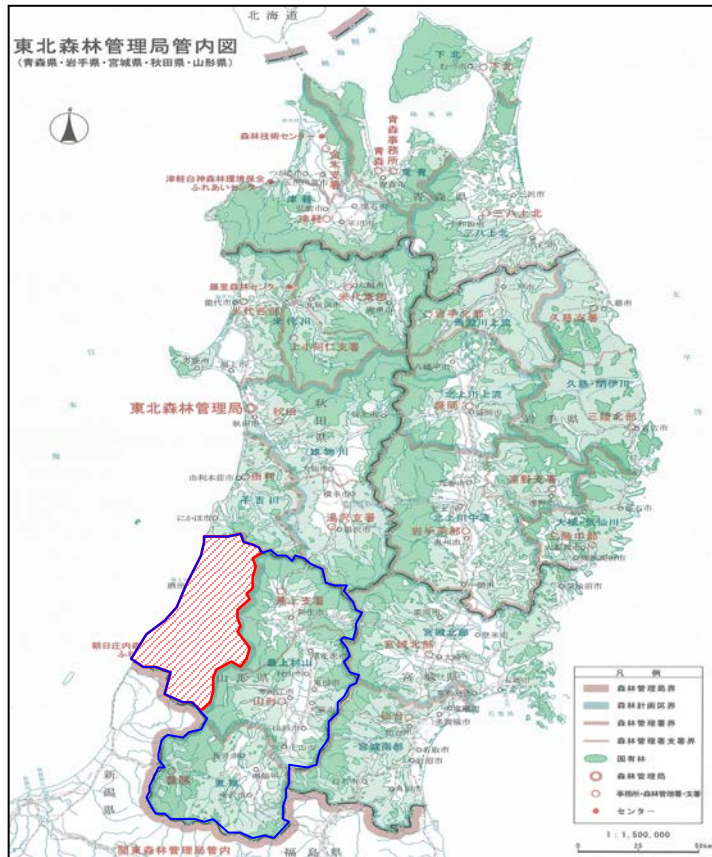
便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林整備
施行箇所：庄内森林計画区

都道府県名：山形
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,744,140	
	流域貯水便益	815,318	
	水質浄化便益	1,725,888	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,511,564	
環境保全便益	炭素固定便益	753,860	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	102,589	
	木材利用増進便益	22,648	
	木材生産確保・増進便益	390,561	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	2,823	
	森林整備促進便益	838,498	
総 便 益 (B)		8,907,889	
総 費 用 (C)		1,384,047	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{8,907,889}{1,384,047} = 6.44$		

森林環境保全整備事業 庄内森林計画区(山形県) 事業概要図



対象計画区拡大図

